

# 企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果（抜粋）

（2008年9月調査）

2008年10月

株式会社 日通総合研究所

ホームページはこちら

<http://www.nittsu-soken.co.jp>

## 目次

I. 調査の内容	1
II. 調査の結果	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

## I. 調査の内容

**目的** : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

**方法** : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標<sup>(\*)</sup>とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[ \begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[ \begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(\*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

**調査対象** : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

## －今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2008年7～9月の実績と2008年10～12月の見通しを9月中旬時点でうかがったものであり、1,082社からご協力をいただき、回答率は43.3%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

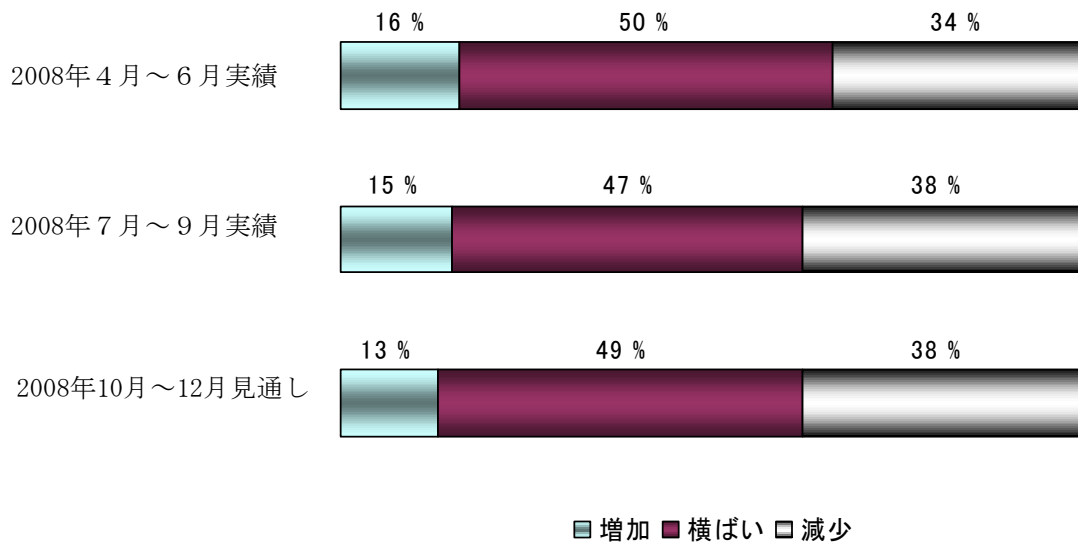
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	109	47.0
	織 維 ・ 衣 服	111	50	45.0
	木 材 ・ 家 具	96	40	41.7
	パ ル プ ・ 紙	107	45	42.1
	化学・プラスチック	238	115	48.3
	窯 業 ・ 土 石	102	47	46.1
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	103	52.6
	金 属 製 品	128	56	43.8
	一 般 機 械	222	98	44.1
	電 気 機 械	333	132	39.6
	輸 送 用 機 械	250	91	36.4
	精 密 機 械	67	25	37.3
	そ の 他	167	59	35.3
計		2,249	970	43.1
卸 売 業	生 産 財	124	59	47.6
	消 費 財	127	53	41.7
	計	251	112	44.6
合 計		2,500	1,082	43.3

## Ⅱ. 調査の結果

### － 1. 国内向け出荷量の動向－

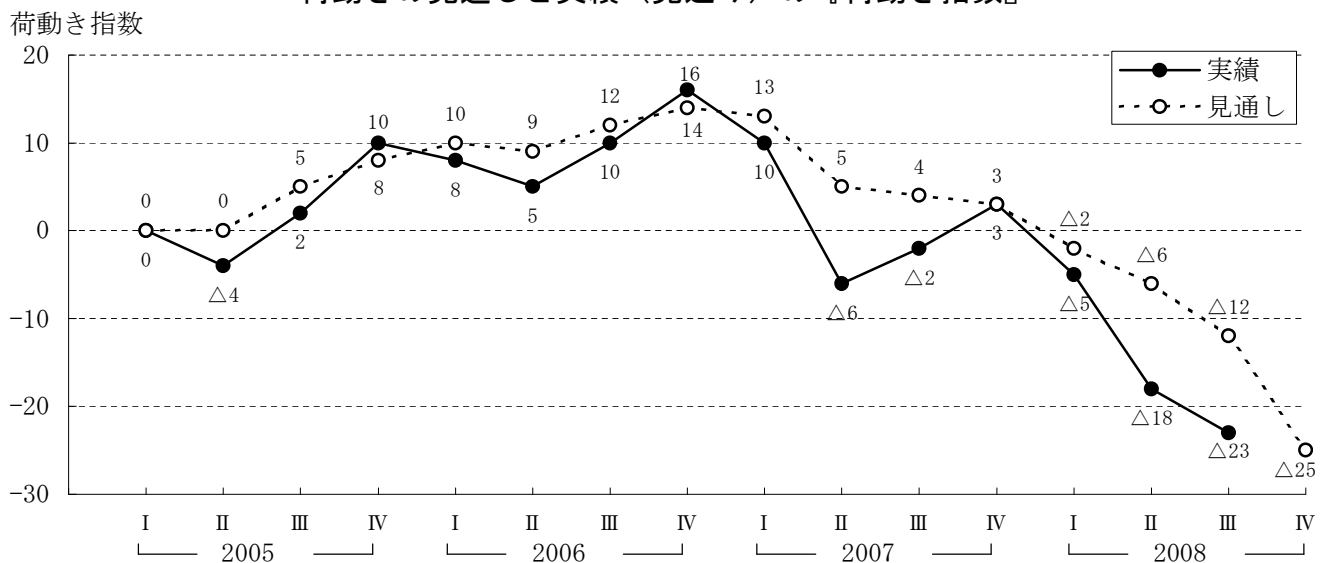
- 7～9月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績より1ポイント低下し15%となった。一方、「減少」との回答は前期より4ポイント上昇し38%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は5ポイント低下して△23となった。
- 10～12月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（7～9月）実績（見込み）より2ポイント低下し13%となり、「減少」との回答は横ばいで推移するとみられる。この結果『荷動き指数』は△25と小幅ながらさらに低下する見通しである。

国内向け出荷量の実績と見通し



- 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2008年1～3月実績で『荷動き指数』が水面下に沈んだ後は、期を追うごとにマイナス幅の拡大が続き、7～9月実績（見込み）では△23まで落ち込んだ。10～12月見通しでも、『荷動き指数』は小幅ながらさらに低下する見込みで、荷動きの減退圧力はいつそう拡大する見通しである。

荷動きの見通しと実績（見込み）の『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2008年IV期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2008年III期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 7～9月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△23で、前期（4～6月）実績からは5ポイントの低下となった。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料が1ケタのマイナスにとどまるものの、窯業・土石、精密機械、輸送用機械などでは、前期（7～9月）実績（見込み）より10ポイント以上の低下が見込まれる。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△25と小幅ながらさらに低下する見通しで、荷動きは大幅な減退が続くとみられる。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2008年7月～9月実績					2008年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	109	19	45	36	△17	107	20	57	23	△3
	繊維・衣服	50	10	56	34	△24	50	8	62	30	△22
	木材・家具	39	13	36	51	△38	38	10	45	45	△35
	パルプ・紙	44	11	50	39	△28	43	2	58	40	△38
	化学・プラスチック	115	11	56	33	△22	114	10	59	31	△21
	窯業・土石	47	21	43	36	△15	47	9	51	40	△31
	鉄鋼・非鉄	102	12	46	42	△30	102	7	45	48	△41
	金属製品	54	9	43	48	△39	54	19	37	44	△25
	一般機械	98	16	40	44	△28	98	13	40	47	△34
	電気機械	131	17	46	37	△20	129	18	42	40	△22
	輸送用機械	89	22	44	34	△12	88	16	43	41	△25
	精密機械	25	20	44	36	△16	25	12	44	44	△32
	その他	59	12	47	41	△29	58	10	52	38	△28
計	962	15	46	39	△24	953	12	49	39	△27	
卸売業	生産財	59	7	49	44	△37	59	8	50	42	△34
	消費財	51	16	57	27	△11	50	20	50	30	△10
	計	110	11	53	36	△25	109	13	50	37	△24
合計	1,072	15	47	38	△23	1,062	13	49	38	△25	

■ 7～9月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての地域が2ケタのマイナスを示し、とりわけ東海地域で荷動きの減退圧力が大きい。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでも、引き続きすべての地域で2ケタのマイナスを示す。なかでも、北海道、北陸・信越、東海、近畿、中国の各地域では『荷動き指数』がさらに低下して、荷動きの減退圧力が強まる見通しである。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

地 域	2008年7月～9月実績					2008年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	49	16	41	43	△ 27	49	10	39	51	△ 41
東 北	88	17	50	33	△ 16	87	14	56	30	△ 16
関 東	260	15	46	39	△ 24	258	14	50	36	△ 22
北 陸 ・ 信 越	117	15	47	38	△ 23	115	12	47	41	△ 29
東 海	147	15	37	48	△ 33	147	11	41	48	△ 37
近 畿	166	13	50	37	△ 24	165	13	49	38	△ 25
中 国	95	18	47	35	△ 17	93	14	48	38	△ 24
四 国	66	12	52	36	△ 24	65	18	47	35	△ 17
九 州 ・ 沖 縄	84	10	60	30	△ 20	83	12	59	29	△ 17
合 計	1,072	15	47	38	△ 23	1,062	13	49	38	△ 25